

二上まなび交流館の現状と課題

1 検討の背景

来年度で建設から 50 年を経過し、今後、改修することが見込まれることから、二上まなび交流館のあり方について検討する必要がある。

2 施設の特徴

- ・市中心部から近く且つ自然豊かな環境であることから、市内の多くの小中高等学校や企業が使用している。宿泊可能な研修施設として市内の他の施設では代替できない役割を担っている。また、体育館は日常的に市内のスポーツ少年団などの練習に活用されている。
- ・施設内にボーイスカウト高岡地区協議会、ガールスカウト高岡地区協議会、高岡児童クラブ連合会の青少年健全育成を担う 3 団体の事務局が入居しており、活動拠点として使用している。
- ・キャンプ場は、利用料無料のオートキャンプサイトも設置されており、県外からも利用者が訪れている。
- ・社会教育を専門とする職員が配置されており、常に事業内容の充実とレベルアップを図り魅力ある施設づくりに努めていることから、リピーターとなっている利用者も多い。

3 課題

- ・耐震化は図ったものの、外壁の亀裂・剥離、体育館や食堂の天井からの雨漏り、宿泊室エアコンの故障、館内放送設備の不調等、老朽化に起因する修繕を要する箇所が多く存在する。
- ・夏場の稼働率は高いが、主に青少年を対象とした施設であることから使用料を安価に設定しており、採算性の低い施設となっている。